

プレス・リリース

平成24年度企画展

国際交流基金コレクション

# 日本陶芸、世界を巡る

The Japan Foundation Collection / The Japanese Modern Ceramics go around The World

平成24年4月21日（土）～6月17日（日）

旅程68カ国168都市、日本初公開！！



北大路魯山人  
雲錦手大鉢(うんきんでおおぼち)  
昭和15-24(1940s)年頃 20.0 × 37.0 cm

## 茨城県陶芸美術館

IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)  
TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012  
<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

## 1 展覧会名

国際交流基金コレクション

# 日本陶芸、世界を巡る

英名：The Japan Foundation Collection／The Japanese Modern Ceramics go around The World

キャッチコピー：旅程68カ国168都市、日本初公開！！

## 2 開催趣旨

### A：一言でいうと(123字)

独立行政法人国際交流基金が所蔵し、海外 68 カ国 168 都市で「伝統陶芸展」「クレイワーク展」として十数年にわたり巡回されたコレクションを、国内ではじめて紹介するものです。「海外の眼がみた日本の現代陶芸」、日本初公開となる名品の数々をお楽しみ下さい。

### B：もう少し丁寧にいうと(234字)

独立行政法人国際交流基金が所蔵し、海外 68 カ国 168 都市で「伝統陶芸展」「クレイワーク展」として十数年にわたり巡回されたコレクションを、国内ではじめて紹介するものです。

「伝統」の部では重要無形文化財保持者(人間国宝)をはじめとする巨匠作品を通して、陶芸の伝統技法をもとに開花した陶表現の技と美を紹介します。また「造形」の部では、戦後陶芸の造形的な動向を担った作家の作品を紹介します。

「海外の眼がみた日本の現代陶芸」、日本初公開となる名品の数々をお楽しみ下さい。

### C：詳細にいうと(346字)

この度当館では、独立行政法人国際交流基金が所蔵する、日本近代陶芸のコレクションの寄託を受けました。本展は、海外 68 カ国 168 都市で「伝統陶芸展」「クレイワーク展」として十数年にわたり巡回されたコレクションを、国内ではじめて紹介するものです。

本展は、伝統と造形の2部構成となっており、第1部の「伝統」では重要無形文化財保持者(人間国宝)の富本憲吉、濱田庄司、清水卯一をはじめ、河井寛次郎、北大路魯山人ら巨匠の作品を通して、伝統的な陶芸技法をもとに開花した陶表現の美を紹介します。

また第2部は、「造形」として戦後陶芸の造形的な動向を担った八木一夫や熊倉順吉、また森野泰明、三輪龍作ら現在活躍する作家の作品を紹介します。

「海外の眼がみた日本の現代陶芸」、日本初公開となる名品の数々をお楽しみ下さい。

## 3 主催等

主催	茨城県陶芸美術館
後援	NHK水戸放送局・茨城新聞社
協力	独立行政法人 国際交流基金

## 4 会期

平成24年4月21日(土)～6月17日(日) 51日間

## 5 開館時間

午前9時30分から午後5時まで(入場は午後4時30分まで)

## 6 休館日

月曜日 ただし、4月30日(月)は開館。

## 7 会場

茨城県陶芸美術館 地階企画展示室

## 8 観覧料

一般700(550)円 高大生500(400)円 小中生250(200)円

( )内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳・療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方(ただし1人につき1人まで)は無料。土曜日は高校生以下無料。

## 9 関連行事(予定)

### ○美術講演会

「国際交流基金コレクションにちなんで

現代陶芸の形成—茨城県・笠間の新しい動向にふれて」

講師：金子 賢治(当館館長)

平成24年5月20日(日) 午後1時30分から

当館1階多目的ホール(聴講無料)

### ○呈茶会

主催：茨城県陶芸美術館友の会

平成24年6月3日(日) 午前11時～午後3時40分まで

先着80名様(当日呈茶券販売)

### ○担当学芸員によるギャラリートーク：平成24年5月12日(土)

午後1時30分—

詳細につきましては後日、ポスター・チラシ・ホームページ等でご確認ください。

## 10 連絡先

茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)

TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

展覧会担当 学芸課主任学芸主事 山下宗彦(やました・むねひこ)

E-Mail yamasita.munehiko@post.ibk.ed.jp

広報担当 企画管理課副主任学芸主事 田村美穂子(たむら・みほこ)

E-Mail kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

## 11 ホームページ <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

## 12 ごいっしょに

特別展 REVALUE NIPPON PROJECT

中田英寿、日本陶芸に会う—陶と和紙

[会期：2012年4月28日(土)～6月10日(日)]

## 13 次回展ご案内

「ふしぎ!たのしい!ゲンダイトーゲイ —親子でめぐる やきもの図鑑」

[会期：2012年7月21日(土)～9月23日(日)]

※ 写真を掲載する際には、作品キャプションを併記してください。  
画像データが必要な方は広報担当へご連絡ください。



十二代 今泉今右衛門  
「色鍋島八角更紗文額皿」(いろなべしまはちかくさらさもんがくざら)  
昭和52 (1977) 年 6.5×41.0cm



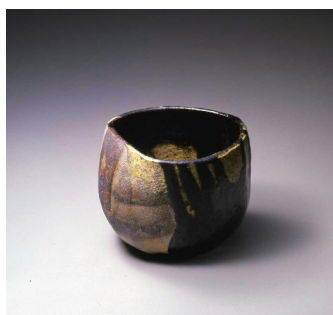
藤本 能道  
「色絵かわせみ文八角箱」(いろえかわせみもんはっかくぼこ)  
昭和52 (1977) 年 8.5×27.0cm



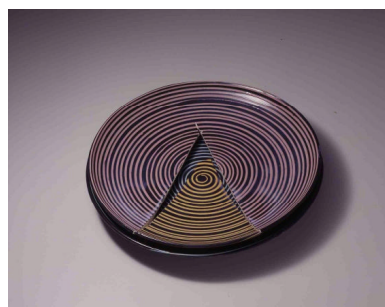
河井寛次郎  
「呉須花扁壺」(ごすばなへんこ)  
昭和15-24 (1940s) 年頃 21.0×14.0cm



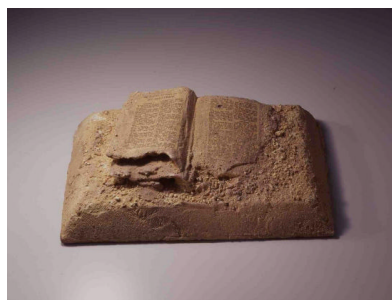
近藤 悠三  
「柘榴染付皿」(ざくろそめつけざら)  
昭和53 (1978) 年 5.5×32.0cm



十五代 樂 吉左衛門  
「茶碗(鳳翔)」(ちやわん(ほうしょう))  
昭和62 (1987) 年 9.0×14.0cm



金子 潤  
「ダブルプレート」  
昭和54 (1979) 年 9.0×54.0cm



荒木 高子  
「砂の聖書」(すなのせいしょ)  
昭和54 (1979) 年 15.0×43.0×35.5cm



三島喜美代  
「PACKAGE 82-B」(ぱっけーじ 82-B)  
昭和56 (1981) 年 45.0×59.0×24.0cm